

06. ムルデカ・スクエアと建築



スターLRT（電車の路線名）のマスジット・ジャメを下車すると、すぐそばに市内最古のイスラム寺院であるマスジット・ジャメがある。女性はスカーフのようなもので、頭を覆わなければ中には入れない。イスラム教の規律のようだ。建物は礼拝ができるような大きな空間に、列柱が連なる不思議な半外部空間がそこにあった。外壁がないので天井が低くても奥行きと広がりがあり、むしろ天井が低いがゆえにそのように感じたようにも思えた。壁の構造が解き放たれた分、神聖な空間に思え目をうばわれた。

ムルデカ・スクエアは独立広場を中心にコロニアル建築が立ち並んでいる。その景色は、KLCC等の中心部の近代的な建築とは異なり、都市の中に別の異質空間があるような不思議な光景であった。全長が約137mあるスルタンアブドゥルサマドビル（旧連邦事務局ビル）は独立広場からその姿を一望でき、背景となるビル群がその姿を際立たせていたようにも思えた。記念図書館は広場を中心にアールを描き、アーチの中にガラスが軽やかさを演出したものであり、中央広場がうまくいかされた印象的な建物であった。

石川 厚志